

## 2025年度 第1回 定期理事会 ~~議案~~ 議事録

日時 2025年6月3日(火) 10時～16時30分

場所 ふれあい貸し会議室八重洲No.14 東京都中央区日本橋3丁目3-3 加藤ビル  
4階

### 1 開会宣言

10:08 中村業務執行理事の宣言により開会

※電車遅延による遅参有

### 2 代表理事 挨拶

### 3 議長指名

議長：規定により中村業務執行理事

書記：紺野

議事録署名人：

高田

野田

### 4 議決権数確認

総理事数 8名

出席理事 7名

欠席理事 1名

よって、理事会は成立いたします。

出席：山口、野田、中村、紺野、堀川、高田、森井、高屋監事

欠席：本橋理事、山内監事

## 5 報告事項

理事会

メール審議 61 件 (5/28 現在)

3 月 21 日 : SUP 安全対策会議 (中村、山口 (アドバイザーとして))

3 月 22 日 : JBWSS (紺野、山口) パシフィコ横浜・ブース出展

5 月 7 日 : 渉外業務 (野田、中村) 青少年機構、観光庁、環境省

5 月 8 日 : 三役会議 (山口、野田、中村、紺野) 東京

5 月 12 日 : 事務局打ち合わせ (紺野) 横浜

5 月 15 日 : UMI 協議会総会出席 (紺野) 東京

5 月 18 日-19 日 : 事業者セミナー 30 名申込み 20 名聴講

6 月 2 日 : 渉外業務 (山口、野田、中村、紺野) ※2 チームに分けて行動

- ・ AT 協議会事務局、アソビュー、アクティビティジャパン

国立公園にアドバンチャーツアーを実装する (観光庁冊子)

AT 協議会事務局は、行政と連携して業務を行っている。環境ガイドラインの出版を聞かれた。OTA については、OTA としての社会的責任を考えている。観光庁 : 国立公園のアクティビティの冊子作成。安全対策に JSPA が掲載。OTA の反応は好意的・良好。

- ・ 海洋レジャー安全振興協会、マリンレジャー振興協会、海上保安庁安全対策課

海レ協とマリスでは、パドルスポーツ業界の現状について、何故 JRCA と JSPA に分かれているのかを質問された。SUP の団体は何故たくさんあるのかという質問も。

- ・ JTB では、パドルスポーツの事業者団体で、JSPA を認識しており、契約時に加盟を伝えると、契約がスムーズ。

- ・ 海外の基準を把握したうえで、JSPA の基準を策定していることをしっかり PR する。  
→ 海外の基準について業務執行理事が把握を進める

担当者の異動については、把握しておくべき。総会後の活動報告をメールで送ってはどうか？

省庁訪問時に以前の担当者に顔をだしも重要。

→ 連絡先の把握継続と、報告書送付を行う。以前の担当者への顔出しは、可能な範囲で行う。

安全対策委員会

- 安全対策委員会の Google アカウント取得

- 委員会業務の引き継ぎ、Google ドライブに既存のデータ移行および管理
- 安全対策委員会 メーリングリスト の変更・登録
- 公認スクール ML の権限の変更・登録
- 【JSPA 協会 HP 公認スクール一覧の各事業者の取得資格及び業務表記（アイコン）の記載について】 の Google フォームの作成および集計・広報委員会へ提出
- 「NPO 法人サードフィールドさど」→「一般社団法人サードフィールドさど」に組織の変更届の受理および事務局へ報告
- 新規公認スクール開設申請書類一式の審議
  - 【01 ビーチハウス・ラパン】 継続中
  - 【02 WEST 三条店】 理事会承認
  - 【03 LOVEARTH】 理事会へ提出
  - 【04 BUILD】 継続中
  - 【05 ファルトピア】 継続中
- カヌーワールド掲載記事の確認

#### 教育普及委員会

- ・質疑無し

#### 広報委員会

- ・楠委員長の働きで非常に良い動きになっている
- ・検索上位
- ・インストラクターになるにはページの独立を検討

#### 環境委員会

- ・質疑無し

#### フィッシング部会

- ・松永委員の渉外業務については、JSPA フィッシング部会員として行う場合は事前に理事会と調整する
- ・SUP フィッシング研修の対象は？
- ・マリンレジャーの振興として、フィッシングは各団体から注目されている。情報発信を先行して行ってほしい。
- ・冊子の作成を早急に進めるべき（イベントよりも広報物の作成に注力してほしい）
- ・広報物には、漁港での駐車の問題など、基本なところをしっかりと押さえてほしい

事務局

- ・質疑無し

## 6 決議事項

中間決算未了のため（6月末で中間決算）なし

## 7 協議・検討事項

○2024年度カンファレンスに関して（三役案）

2/17 IT選考会

2/18 10-12 総会

13-17 会員研修会（早川先生(紺野担当)&一般会員希望調査の2本)

17-18 委員会部会会議

19- 懇親会

2/19 代表者研修会

9-12 オープニング、ブロック MTG

13-15 海保伊藤氏、マーケティング木村氏（各45分質疑15分）

15.5-17 候補山口代表理事、遠藤さん、顧問、雪崩出川さん）

2/20 JSPA-CPR 担当：山口代表理事

会場は中小企業会館、懇親会は大珍楼 宴会担当は中村

- ・OTA 田中さんの講演（木村さんとの対談）

候補

- ・補助金の種類と傾向と対策
- ・JSPAの歴史
- ・雪崩対策話し業務日報の大切さ(他分野の安全管理)
- ・自治体の仕組み（自治体事業の獲得法）
- ・AT先進地域の自治体職員

候補を再度精査し、正会員のアンケートで決定

○カンファレンスのオンライン開催とその場合の単位

総会、会員研修会、代表者研修会（PM）のオンライン配信を行う。木村さんに依頼  
単位については検討を継続。単位認定はしない。

○推薦状を記載するためにやらないといけないこと

- ・ガイドラインの記載を確認した

○HPに自治体や行政の方の入口を設けては？

- ・自治体の問い合わせ窓口をHPに構築する  
→木村さんと相談する。担当高田理事

○事業者セミナーの継続に関して

- ・タイトルの精査が必要では
- ・実績から、5月開催が良いのでは無いか。目的の明確化が大事。

→年1回、5月開催。日程を早く決めて、広報を強化。タイトルはそのまま。

○公認スクール規程の雛形

- ・推薦者が用意する。

○SNSを有効活用するために補助金申請をした案件、一般公開できる報告書を提出するようにしたい

・広報委員会で原稿を受付、アップする。投稿用フォーマットを用意し、提出書類に加える。

→会員研修会、SRPなどは、報告時に広報用投稿フォーマットと写真を提出。関連ガイドラインを改正（高田理事）、必要メモやフォーマットを改正

○広報委員会が行っているインタビューの反応

よくできている。今後の展開をあらためて検討。

○バナーの注文枚数

20枚とする

○JSPAパンフの増刷

→部数の残りがあるため、まだ行わない。

→原稿パンフは新規公認スクールに10部入れる(次回更新時に掲載される旨記載)

○ヒヤリハット

→早急に収集を開始する

○事故報告ガイドラインを精査する。もっと報告しやすい名称など。

→森井理事

#### ○SRP

- ・ AI 受験者向けと一般向けに分けるべきではないか  
→現状のままとする。SRP を使って、ガイド向けのプログラムを行うのは構わない。  
また、その旨をタイトルにして集客を図るのも構わない。
- ・ SRP 再受講について、再受講者への特典又割引を行いたい。  
→協会としては「定価」の統一のみ行う。  
→修了証への再受講を進める記載については、次回改正時に検討する

## 8 次年度のビジョン・事業計画

#### ○2026 年度ビジョン

- ・ 6 月中にビジョンを提示。
- ・ 新入会員向けあいさつ文（ようこそ JSPA へ）

16:15 全ての議事を終了し、野田副代表理事の宣言により閉会、解散

#### ◇理事会運営体制

- ・ 1 月理事会：前年度の報告と次年度の予算、協議
- ・ 6 月理事会：修正を要する事業計画、次年度のビジョン・事業計画
- ・ 10 月委員会事業計画・予算要求
- ・ 11 月三役会議：収支確認、次年度資金計画、予算案原案作成
- ・ 12 月 ML にて予算案理事会承認、委員会へ内示